



今月の表紙：超高齢期の精神神経疾患患者では、生理的变化や基礎疾患の影響を受けることから、典型的な症状が現れるとは限らず、治療経過も典型例とは異なる場合が多い。超高齢者の診療では、より丁寧な問診と詳細な病態把握が鍵を握る。

特集

超高齢期の精神神経疾患を診る

- 1319 超高齢期の末梢神経・筋疾患 佐藤亮太
- 1331 超高齢期の脊椎疾患 亀山 隆
- 1345 超高齢期のパーキンソン病 金原禎子, 武田 篤
- 1353 超高齢期の認知症 高尾昌樹
- 1361 超高齢期の精神疾患 新村秀人

総説

- 1371 平山病の病態機序に関する新しい仮説
免疫異常に由来する頸部後部硬膜の椎弓への固定不全による 福武敏夫

神経画像アトラス

- 1382 MRI 拡散強調画像で両側中小脳脚に高信号を認めた浸透圧性脳症の1例 大岩美都妃, 他

LETTERS

- 1385 神経細胞が変性壊死するときはシナプスに始まり細胞体に終わるという順は、それらが造られてくるときのまったく逆順に見える
生田房弘

書評

- 1369 精神神経症候群を読み解く — 精神科学と神経学のアートとサイエンス
評者：河村 満
- 1387 回復期リハビリテーション病棟マニュアル 評者：原 寛美
- 1388 投稿規定
- 1390 Information for Authors
- 1392 バックナンバーのご案内
- 1393 次号予告
- 1394 あとがき
- 巻末 第72巻総目次(1)–(4)